

大阪市環境審議会 第2回

「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画推進検討部会 議事要旨

- 日 時：(1) 令和7年12月8日(月) 13時30分～15時00分
(2) 令和7年12月9日(火) 10時00分～11時00分
(3) 令和7年12月10日(水) 10時00分～11時30分
(4) 令和7年12月11日(木) 10時00分～11時30分

- 場 所：(1) 大阪公立大学 杉本キャンパス
(2) 大阪大学 吹田キャンパス
(3) 近畿大学 東大阪キャンパス
(4) 京都大学 桂キャンパス

議 題：

- (1) 「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画の中間見直しについて
- (2) その他

出席者：

- (委員) (1) 貫上部会長、(2) 中谷専門委員、(3) 藤田委員、(4) 島田専門委員
(事務局等) (1) (2) (3) 阿部土壤水質担当課長、楠田土壤水質担当課長代理
(4) 阿部土壤水質担当課長、楠田土壤水質担当課長代理 他

配付資料：・次第

- ・「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画の中間見直しについて

【議事要旨】

- ・資料により「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画の中間見直しについて、事務局から説明を行い、概ね了承が得られた。

【委員意見】

- ・市民満足度の5つの指標について、評価方法及びこれまでの満足度との関連性についてはわかりやすくなっており理解できる。
- ・水辺空間の利活用とにぎわいの創出の評価指標として、イベントや河川クルーズなどを通じて水辺空間を楽しむ人の数については、直近の年間の利用者数である「140万人を維持する」を指標値にすることは理解できる。ただし、なぜ140万人を維持するとしたか、理由を明記すべきである。
- ・令和7年4月から実施しているプラスチック資源の一括収集の取組みについて、ごみの分別は市民の意識を変えていくことが重要である。この取組みが海洋プラスチックごみの

削減にもつながっていることが分かるように計画に掲載してほしい。

- 海外への情報発信や事業展開の機会の創出及び海洋プラスチックごみの削減等に関わるステークホルダー間の連携の創出については、これまでの具体的な取組み事例を掲載することは他の団体の参考にもなることから、その内容を計画に掲載するとともに成果として発信すべきである。

以上